弥富市 浸水津波ハザードマップ

Yatomi City Tsunami Hazard Map

わが家の避難所	家族の連絡先	その他の連絡先

この浸水津波ハザードマップは、南海トラフ巨大地震の想定震源のうち、弥富市にもっとも大きな津波被害をもたらすケースの理論上最大規模の地震襲来時における、想定される津波の基準水位を示したものです。

弥富市役所 総務部防災課
住所:〒498-8501 愛知県弥富市前ケ須町南本田335
電話:0567-65-1111(代表)

令和4年(2022年)3月作成

万一の災害に備えて「ご家庭の見えやすい場所」へ保管しご活用ください!

南海トラフ巨大地震とは

南海トラフとは、駿河湾から九州東方沖まで続く海底の溝(トラフ)で、非常に活発で大規模な地震発生帯と言われています。南海トラフでは、過去に海溝型の巨大地震が繰り返し発生し、大きな被害をもたらしてきました。

浸水被害発生のメカニズム

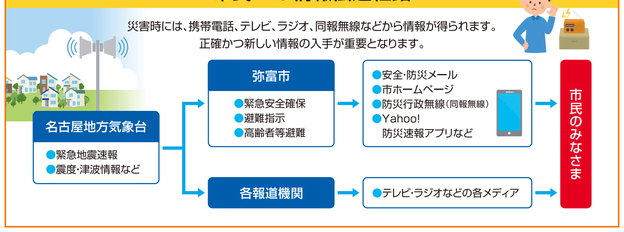
地震により地面に強い振動が加わると、地盤の沈下とともに、**液状化現象**が発生します。これは堤防の内部も例外ではなく、堤防内部が液状化すると、強度が低下し盛土の荷重を支えきれなくなり**堤防が破堤**してしまいます。これにより**津波本体が到達する前**に、市内に川の水が流れこんでしまいます。
そのため、堤防沿いの地域では、地震発生後わずかな時間で浸水被害が生じる可能性があります。

津波に関する警報と注意報

	発表される津波の高さ 数値での発表	発表される津波の高さ 巨大地震での発表	とるべき行動	想定される被害
大津波警報(特別警報に位置づけ)	10m超	巨大	**沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。** 津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。 **ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。**	建物が全壊・流出し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m			
	5m			
津波警報	3m	高い		標高が低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m	(表記しない)	**海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。** 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

市民への情報伝達経路

災害時には、携帯電話、テレビ、ラジオ、同報無線などから情報が得られます。
正確かつ新しい情報の入手が重要となります。



避難する際の注意点

運動靴で避難する

避難の際は長靴ではなく、履きなれた運動靴を履いて避難しましょう。

足元を確認しながら行動する

浸水した道路を歩くときは、長い棒などを杖代わりにして、安全を確認しながら歩きましょう。

30cm以上の水深があると、歩いて避難するのが難しくなります。また、水深が浅くても水の流れが速く、緊急時避難場所へ行くのがかえって危険な場合は、最寄りの丈夫な建物のできるだけ高いところに避難しましょう。

浸水津波への備え

平常時

家の中の安全対策

地震が発生すると、家具等が転倒したり、家屋が倒壊して下敷きになり被災することがあります。
- ●家具などの固定
- ●ガラス類の飛散防止

備蓄品の準備

地震・津波による災害発生後は、道路の寸断などにより救助や支援が滞る可能性があります。家族が7日間、生活できるだけの備えをしておきましょう。

防災知識を身につける

地震後、的確な対応を行うためには、各自がどれだけ正しい防災知識を持っているかにかかってきます。
- ●身の守り方
- ●消火の方法
- ●応急手当
- ●危険な場所・避難路・避難場所等の把握

地域のコミュニケーション

お年寄りや体の不自由な方々に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。過去の大規模災害でも、隣近所の人が協力し合う「共助」により、人命を救った事例が報告されています。

地震発生

建物内

地震の揺れを感じたら、まずは落ち着いて自分の命を守ることを考えましょう。揺れが完全におさまるまで、安全な場所に身をかくして待ちましょう。

建物外

建物の近くにいると、落下物の危険があります。カバンなどで頭を守り、安全な場所へ逃げましょう。

避難時

避難は徒歩

家屋の倒壊や落下物、浸水により、自動車ではスムーズに避難できない可能性があります。
また、多くの人が自動車で避難してしまうと、渋滞や交通事故のおそれがあります。

地域での協力

災害が発生したときは、隣近所の人たちとの助け合いが必要となります。とくに、お年寄りや体の不自由な方といった、要支援者に声をかけて一緒に避難するなど、ご近所で助け合いましょう。

河川には近づかない

地震の後には、堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険です。
3階以上の鉄筋コンクリート造りの建物に避難しましょう。避難指示の発令を待つのではなく、自ら判断して避難することに心がけましょう。

防災情報等の取得方法

弥富市安全・防災メール

安全メール ・防犯に関する情報(不審者情報など)
防災メール ・災害緊急情報(避難所関連情報など)・気象警報注意報(大雨、洪水、暴風など)
・地震情報(震度1以上)・津波情報

弥富市安全・防災メール登録時の注意点
- ●メール配信サービスの利用規約に同意していただいた上で、ご登録をお願いいたします。
- ●「@sg-p.jp」ドメインあるいは「yatomi@sg-p.jp」のアドレスからのメールの受信を許可する設定を行ってください。
- ●URL付きメールの受信を許可する設定を行ってください。

1 空メールを送信します サイトにアクセスし、[空メールを送信する]から空メールを送信します。

PC・スマートフォンの場合
https://plus.sugumail.com/usr/yatomi/home

フィーチャーフォン(ガラケー)の場合
https://m.sugumail.com/m/yatomi/home

共通 [空メールを送信する]ボタンをクリックすると、メールが立ち上がります。そのまま何も入力せずにメールを送信してください。
※メールが起動しない場合は、手動でメールを立ち上げ、t-yatomi@sg-p.jpに空メールを送信してください。

2 メールが届きます
メールに記載された登録用URLをクリックし登録に進みます。
https://plus.sugumail.com/usr/XXXXXXXXXXXXXXX
※フィーチャーフォンの場合は異なるURLが表示されます。

3 利用規約を確認します
利用規約をご確認の上、「同意する」ボタンをクリックします。

Yahoo! 防災速報アプリ

弥富市は令和元年にヤフー株式会社と災害に係る情報発信等に関する協定を締結しております。ぜひご活用ください。

iPhone版 Android版

防災行政無線(同報無線)

弥富市防災行政無線(同報無線)をもう一度聞き直したい場合は、**0567-65-8517**
※固定電話、携帯電話どちらでもつながります。(通話料金は自己負担となります。)

お役立ち情報

弥富市HP / 弥富市防災ツイッター / 気象庁 / 国土交通省川の防災情報 / 愛知県川の防災情報 / 東海旅客鉄道(JR東海) / 近畿日本鉄道 / 名古屋鉄道 / 中部電力停電情報

災害用伝言サービス「171」&「web171」

被災地域内と他の地域を結ぶ声の伝言板
災害用伝言ダイヤル171
利用ガイダンスにしたがってご利用ください。

伝言の録音方法	伝言の再生方法
❶171にダイヤルする → ガイダンスが流れます	❶171にダイヤルする → ガイダンスが流れます
❷録音する場合は1 暗証番号を利用する録音は[3] → ガイダンスが流れます	❷再生する場合は2 暗証番号を利用する再生は[4] → ガイダンスが流れます
❸0000-0000-0000 被災地の電話番号*-携帯電話-PHS-IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。	❸0000-0000-0000 被災地の電話番号*-携帯電話-PHS-IP電話の電話番号をダイヤルしてください。※市外局番からダイヤルしてください。

家族等の安全がインターネット上で確認できる
災害用伝言板web171
画面の指示によりご利用ください。

登録方法	閲覧方法
❶https://www.web171.jp にアクセス	❶https://www.web171.jp にアクセス
❷0000-0000-0000 被災地の電話番号*-携帯電話-PHS-IP電話の電話番号を入力してください。※市外局番から入力してください。	❷0000-0000-0000 被災地の電話番号*-携帯電話-PHS-IP電話の電話番号を入力してください。※市外局番から入力してください。
❸画面の指示に従って、文字による伝言を登録してください。	❸画面の指示に従って、文字による伝言の追加登録をしてください。

南海トラフ地震臨時情報とは

南海トラフ地震の発生の可能性が高まったと評価された場合に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。国や愛知県、弥富市などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

異常現象を観測
- 南海トラフの想定震源域またはその周辺で **M6.8程度以上の地震が発生**
- 南海トラフの想定震源域のプレート境界面で **通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性**

異常現象に対する評価
- 気象庁が「**南海トラフ地震臨時情報**(調査中)」を発表
- 有識者による検討会を開催し起こった現象を評価

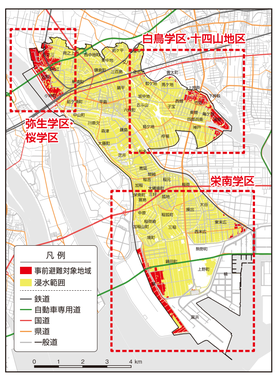
防災対応をとる必要あり
- 半割れ ※1 が発生 → **南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)**
- 一部割れ ※2 が発生 → **南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)**
- ゆっくりすべり ※3 を観測 → **南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)**

必要なし
- 左の条件を満たさない場合 → **南海トラフ地震臨時情報(調査終了)**

※1.想定震源域のプレート境界でM8.0以上の地震が発生
※2.想定震源域またはその周辺でM7.0以上の地震が発生(ただし、プレート境界のM8.0以上の地震を除く)
※3.住民が揺れを感じることがないプレート境界面のゆっくりとしたすれにある地殻変動を観測した場合など

(M:マグニチュード)
※「マグニチュード」は地震そのものの大きさ(規模)を表す数値です。

弥富市の事前避難対象地域の指定状況



事前避難対象地域とは

地震発生後わずかな時間で浸水被害が生じる地域では、避難するよりも先に道路などが浸水し、避難ができなくなるおそれがあります。そのため、そうした地域では**南海トラフ巨大地震の発生する可能性が高まった時点**で、あらかじめ避難する必要があります。
弥富市では、左図で赤く着色された地域を事前避難対象地域として定め、**南海トラフ巨大地震臨時情報(巨大地震警戒)**が発表された場合には1週間程度、安全な地域へ避難することを呼びかけます。

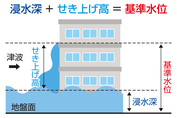
避難が求められる時

気象庁より「**南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)**」が発表された場合。
【南海トラフ西側で「**半割れ**」現象が発生】

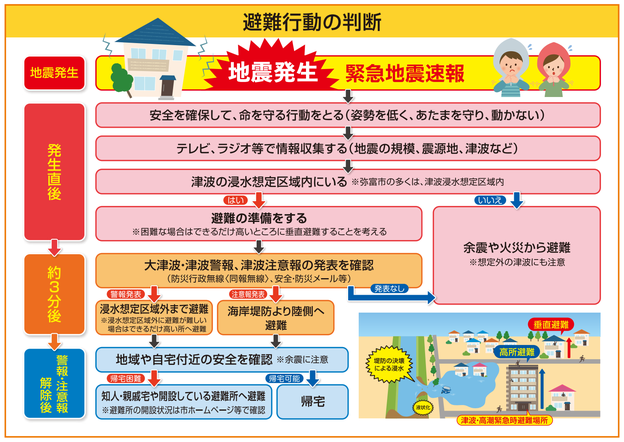
地域指定の基準

地震発生後**30分以内**に津波基準水位が**30cm以上**となる地域。

浸水深 + せき上げ高 = 基準水位



避難行動の判断



非常持出品チェックリスト

非常持出品は家族構成を考えて、最低限必要な分だけ用意し、避難時にすぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

基本的な非常持出品

非常食と飲料水は3日分程度、感染症対策として、マスク・体温計・タオル等を準備しましょう!

- □ 水(飲料用・その他)
- □ 食品(アルファ米・乾パン・レトルト食品など)
- □ ポリタンク
- □ 常備薬
- □ キッチンラップ
- □ 携帯ラジオ
- □ 油性マジック
- □ 携帯電話・携帯電話充電器・モバイルバッテリー
- □ ヘルメット(防災ずきん)
- □ 下着・靴下
- □ 雨具
- □ 防寒用品
- □ 防犯ブザー・ホイッスル
- □ 懐中電灯
- □ スリッパ(室内用)
- □ マスク
- □ 救急用品(ばんそこう・消毒液など)
- □ ティッシュ、ウェットティッシュ
- □ 携帯トイレ
- □ 生理用品
- □ ポリ袋
- □ 現金
- □ 家族の写真
- □ 緊急時連絡先メモ

その他こんなものも…

乳幼児・妊婦がいる家庭に役立つもの
- □ ミルク
- □ 使い捨てほ乳瓶
- □ 離乳食
- □ アレルギー対応食
- □ スプーン
- □ 紙おむつ
- □ おしり拭き
- □ おんぶひも
- □ ガーゼハンカチ
- □ スタイ
- □ 母乳パッド
- □ 授乳ケープ
- □ 母子健康手帳
- □ マタニティマーク
- □ おもちゃ

高齢者、要介護者がいる家庭に役立つもの
- □ 大人用紙おむつ
- □ 紙パンツ
- □ 杖
- □ 入れ歯
- □ 入れ歯用洗浄剤
- □ 介護用品
- □ 老眼鏡
- □ 補聴器
- □ 障がい者手帳
- □ ヘルプマーク

ペットや補助犬のために役立つもの
- □ ケージ
- □ ペットフード
- □ 水
- □ 常備薬
- □ 予備の首輪
- □ 伸び縮みしないリード
- □ ハーネス
- □ 使い捨てエサ皿
- □ ガムテープ
- □ ペットシーツ(トイレ用品)
- □ タオル
- □ ブラシ
- □ キャリーバック
- □ おもちゃ
- □ 迷子札(飼い主の連絡先・飼い主以外の緊急連絡先)
- □ 動物の写真

避難所・緊急時避難場所について

弥富市内および周辺には高台が無いため、地震による津波の来襲が差し迫った場合に、緊急的・一時的に避難可能な高い建物を「津波・高潮緊急時避難場所」として市が指定しています。ご自宅などの近辺にある「津波・高潮緊急時避難場所」の位置を普段から確認しておき、いざという時はその指定された高い場所へ避難してください。

避難所について
避難所は、「自宅が被害を受け居住の場を失った」「災害によって被害を受けるおそれがある」など、避難を必要とする人を受け入れる施設です。ただし、避難所として使用する施設は、学校の体育館や教室といった教育施設など本来は別の用途があります。避難者の受け入れは一時的なものであり、「自宅へ戻ることができる人」「仮設住宅へ入居が決まった人」などへは、退所を促し、施設本来の用途へ回復を目指します。

避難所へ到着した後の流れ

1 連絡先の情報登録
総合受付で、連絡先や家族の情報を登録します。持病や障がい、アレルギー、妊娠中など、配慮が必要なことも伝えましょう。

2 家族などの安否確認
避難所には、掲示板などが設けられ、家族や知人の安否を確認することができます。

3 居住場所の割り当て
家族構成に合わせて、居住スペースが決められます。まわりの迷惑にならないように過ごしましょう。

4 避難所運営に協力
積極的に避難所運営に参加し、割り当てられた役割をしっかり行いましょう。

避難者が協力して避難所を運営します

避難所は自主運営を原則とします。避難所の運営に当たっては、地域の特性や実情を踏まえるとともに、男女が参画し、対等に意見を出し合える体制をつくることにより、避難所における良好な生活環境の確保を図ります。避難所の運営が特定の人々の過重な負担とならないよう、避難所の運営は、避難所を利用する人(避難所以外の場所に滞在する人を含む)の年齢、性別、国籍などに関係なく、可能な限り役割を分担し、より多くの人が避難所の運営に参画できるよう、交代や当番などにより対応するようにしましょう。

動画「避難所」の運営について(弥富市制作)

さまざまな人に配慮しよう

多くの人が訪れる避難所では、思いやりや配慮を持った支援が必要です。誰にとっても安全・安心な避難所であるために、みんなで協力し、支え合える環境をつくりましょう。

女性・妊婦
仕切りを用いて着替えや授乳などのプライバシーに配慮しましょう。

乳幼児
子どもがストレスをため込まないよう、安全な遊び場を確保するなど、心身の健康に配慮しましょう。

高齢者
できるだけ段差をなくして転倒を防いだり、食事の受け取りやトイレを優先したり声をかけてサポートしましょう。

障がいがある人

肢体が不自由な人
移動せずに着替えやトイレができるよう、間仕切りなど活用してプライバシーを確保しましょう。

耳が不自由な人
口の動きが分かるように話しかけたり、身振りや筆談を交えて会話しましょう。

目が不自由な人
通路に物を置かないようにしたり、ハンドマイクなどを活用して、音声で情報を伝えましょう。